



令和元年第3回定例会が9月17日から18日まで、2日間の会期で開催されました。審議されたのは、厚真町一般会計補正予算など議案16件、報告7件、同意1件、選挙1件、認定6件、意見書案2件で、いずれも原案どおり可決されました。

# 議会

令和元年第3回定例会

## 同意

◇厚真町教育委員会委員の任命  
厚真町教育委員会委員に池川徹さん（表町・58歳）を任命することに同意されました。

## 選挙

◇厚真町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙  
地方自治法182条第1項および第2項の規定により、厚真町選挙管理委員会および同補充員の選挙が行われま

◇平成30年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定  
◇平成30年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定  
◇平成30年度厚真町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定  
◇平成30年度厚真町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

## 意見書案

◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書  
◇JR北海道が単独では維持することが困難な線区の維持・存続を求める意見書

## 町長行政報告

○農作物の生育状況について

冬季の降水量は平年に比べ少なく、2月、3月は特に降雪が少なく融雪期は平年と比較し5日早まりました。気温はおおむね高温傾向で推移し、春の耕起や、は種作業は順調に終了し、各作物ともその後の生育はおおむね順調となっています。

近年、気象変動が大きい年が続いています。気象変動に的確に対応できるように関係機関と連携して対応するとともに、災害復旧工事が本格化し、大型車両の往来が増えているなか、収穫作業の最盛期を迎えるにあたって、道路交通安全と農作業事故に十分注意されるよう生産者への呼びかけを強化してまいります。

した。地方自治法第118条の規定により選考委員からの指名推薦があり、選考結果のとおり次の方々に決定しました。

【選挙管理委員会委員】  
大浦真則（上厚真・71歳）、安田久美子（宇隆・63歳）、畑嶋賢蔵（東和・59歳）、高田雅晴（共和・58歳）※敬称略  
【選挙管理委員会補充員】  
矢部励（豊丘・54歳）、秋永晴美（富里・54歳）、山本隆司（表町・54歳）、桐木洋光（軽舞・48歳）※敬称略

## 報告

◇所管事務調査報告（各常任委員会）  
◇委員会調査報告（北海道胆振東部地震復興特別委員会）  
◇財政援助団体等に関する監査の結果報告  
◇定期監査の結果報告  
◇現金出納例月検査の結果報告  
◇教育委員会の事務事業の点検・評価報告  
◇平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

## 議案

◇厚真町表彰条例の一部改正  
◇厚真町一般職の給与に関する条例の一部改正  
◇厚真町税条例等の一部改正  
◇厚真町こども園の設置及び特定教育・保育の実施に関する条例の一部改正  
◇災害弔慰金の支給等に関する条例の

一部改正  
◇厚真町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正  
◇厚真町交流促進センター条例の一部改正

◇財産の取得（学校給食センター厨房機器など）  
◇平成30年災第293号町道鹿沼日停車場線ほか災害復旧工事請負契約の締結

・契約の方法：指名競争入札  
・契約金額：2億1142万円  
・契約の相手方：岩倉・北辰・曾我特定建設工事共同企業体

◇平成30年災第680号町道幌里開拓2号線ほか災害復旧工事請負契約の締結

・契約の方法：指名競争入札  
・契約金額：1億8810万円  
・契約の相手方：山岡・協栄復旧・復興建設工事共同企業体

◇上厚真地区情報通信基盤施設整備工事請負契約の締結

・契約の方法：随意契約  
・契約金額：1億4300万円  
・契約の相手方：東日本電信電話株式会社

◇令和元年度厚真町一般会計補正予算（第6号）  
令和元年度厚真町一般会計予算は歳入歳出それぞれ5億6228万9千円が

追加され、総額は148億6604万4千円となりました。補正された主なものは次のとおりです。

・町営プロードバンド事業 ……853万1千円  
・定住化促進対策事業 ……9000万円  
・小規模土地改良事業 ……3004万5千円

・農地耕作条件改善事業 ……5769万6千円  
・漁業施設災害復旧事業（胆振東部地震） ……4000万円  
・生活再建支援商品券事業 ……2640万円

・安全・安心省エネ住宅推進事業 ……1億円  
・住宅復旧支援事業（胆振東部地震） ……8500万円  
・農業施設等災害復旧事業 ……4000万円

・公営住宅等災害復旧事業 ……755万7千円  
◇令和元年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第4号）、介護サービス事業勘定補正予算（第1号））

◇令和元年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）  
◇令和元年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

## 認定

◇平成30年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定  
◇平成30年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

完了の予定となっております。林道につきましては、3路線23箇所です。災害復旧工事を進めております。着手済みは14箇所、完了は令和3年度を予定しております。

被災森林の再生につきましては、北海道が主体となり、植林や緑化、自然回復などに関する実証試験に着手しております。道有林および町有林に試験区を設け、さまざまな条件下で生育状況などを検証し、その成果は今後の森林整備などに活用されることになって

おります。簡易水道につきましては、本年7月に着手し、現在は周辺の土木工事と沈殿施設の修繕などを行っております。今後は本格的な復旧工事を進め、来年8月の稼働を目指しております。

公共下水道につきましては、現在4箇所です。管渠工事を行っており、事業完了は来年2月を予定しております。農地・農業施設の災害復旧事業につ

きましては、北部地区を中心に土砂埋塞復旧工事として164箇所の承認を受け、関連事業実施に伴い廃止した11箇所を除き153箇所の発注を行っております。事業完了は本年度内の予定となっております。

国直轄の災害復旧事業（勇払東部地区）につきましては、厚真ダムでは、洪水放流機能の確保や堤体周辺のり面工事を行っており、令和4年度の事業完了の予定となっております。

厚幌導水路の復旧工事は、離脱防止機能付きの管を敷設するなどの対策工事を行っております。今年度は、厚幌導水路と支線用水路で計4.5kmの復

旧を行う予定としており、復旧工事の進捗状況に応じて、部分的な共用開始や小口径の支線用水路の調査を行う予定となっております。なお、これまで使用していた取水施設、用水路の応急復旧工事も本年4月までに完了し、暫定的な用水は確保されております。

農業者の農業用施設や機械の復旧に対する被災農業者向け経営体育成支援事業につきましては、事業申請は183戸、物件数は909件となっております。復旧が完了したものをから随時補助金の概算払いの手続きを行い8月末時点で426件が完了しております。

被災家屋の公費解体につきましては、申請受付件数は189件で、内訳は全壊142件、大規模半壊11件、半壊36件となっております。そのうち、106件が解体を完了、そのほか30件が着手済みであります。

災害公営住宅の整備につきましては、新町地区20戸、本郷地区8戸、上厚真地区4戸、合わせて32戸の建設を予定しており、現在、12月の工事発注に向けて実施設計を行っております。完成は来年10月を予定しております。

現在町内では、多くの復旧工事が進められており、各発注機関と受注業者で構成する災害復旧工事安全連絡協議会を設置し、工事に伴う公害防止対策と安全かつ円滑な工事の実施に取り組んでおります。

胆振東部地震の被災から一日も早い復旧を果たすため、今後も関係機関との連携を図りながら、災害復旧事業などの早期完了に努めてまいります。